

令和6年3月 改訂

盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を 見据えたアクションプラン

令和3年12月

盛 岡 市

目次

内容

1	アクションプラン策定の趣旨と背景	1
2	盛岡市における観光の現状(観光客入込数の推移)	1
	(1) 現況	1
	(2) 教育旅行客入込数の推移.....	3
	(3) 盛岡MICE開催助成制度実績数.....	3
3	我が国の観光施策の現状と将来展望	4
4	アクションプラン策定目的	5
5	期間及び成果指標、評価	5
	(1) 期間	5
	(2) 成果指標	5
	(3) 評価	5
6	基本施策	5
	(1) 社会情勢の変化に左右されない安定した誘客の促進.....	5
	(2) 「新たな旅のスタイル」や長期滞在型観光への取組.....	5
	(3) 教育旅行の増客に向けた誘致促進.....	5
	(4) インバウンド需要の段階的回復に向けた誘致促進.....	5
7	体系図	6
8	アクションプラン	7
	(1) 情勢の変化に左右されない安定した誘客の推進.....	7
	(2) 推進する「新たな旅のスタイル」や長期滞在型観光への取組.....	12
	(3) 教育旅行の増客に向けた誘致促進.....	13
	(4) インバウンド需要の段階的回復に向けた誘客促進.....	13

盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン

1 アクションプラン策定の趣旨と背景

盛岡市観光推進計画（以下「観光推進計画」という。）については、令和2年度から6年度までの5年間に取り組む施策を定め、交流人口の拡大とともに観光地としての高付加価値化に取り組むこととしております。また、目指す姿「世界から盛岡ファンを引き寄せる 東北の観光交流都市」の実現に向け、「選ばれる観光地域づくり」「観光産業の「稼ぐ力」向上」「広域観光の推進」「国際観光の推進」の4つの施策を戦略的に展開することとし、「まちなか観光の推進」「MICE 誘致の推進」「インバウンド誘致のためのコンテンツ開発とプロモーション」を重点化施策に据えております。

こうした中、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う甚大な影響が多方面に波及しており、観光需要においても水際対策の徹底や国内における旅行控えの動きが生じたことによって、国内外の観光需要は大幅に減少しており、本市においても大きな影響を受けております。

国では、新型コロナウイルス感染症収束後の中長期的スパンについて、「観光ビジョン実現プログラム 2020」を策定し、国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化とともにインバウンド再開に備える施策をまとめているところです。

本市においては、コロナ前に策定した観光推進計画に加え、今後起こりうる社会情勢の変化への対応が求められており、「盛岡市観光推進計画ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」を策定し、通年型観光による誘客促進に取り組むこととしました。

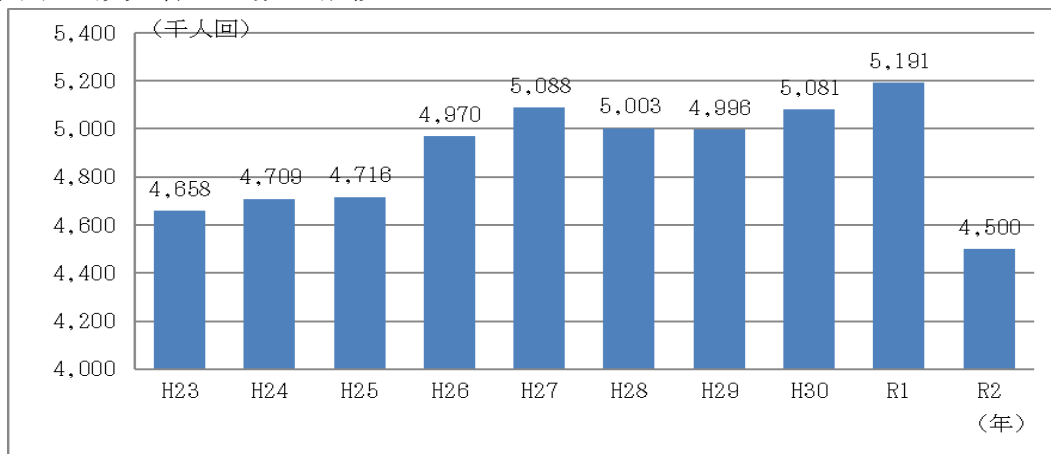
2 盛岡市における観光の現状(観光客入込数の推移)

(1) 現況

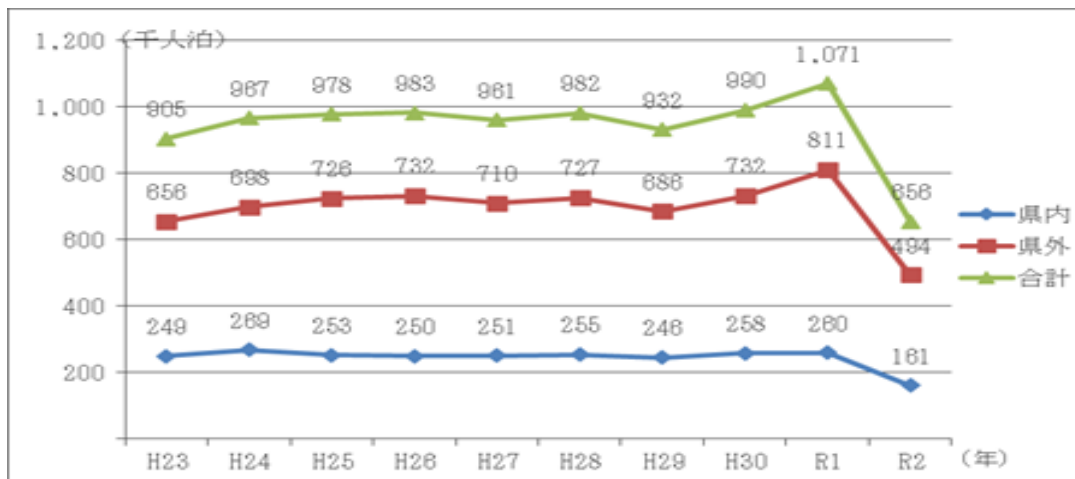
盛岡市の観光客入込数は 500 万人回前後と堅調に推移し、令和元年の外国人観光客入込数は 65,597 人回と過去最高になっています。

そのような中、令和2年は、国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、祭り・イベントの中止やインバウンドはもとより、国内においても移動の制限や自粛により、観光客入込数は 450 万人回と最近 10 年で最低の入込数となりました。外国人観光客入込数も前年比 8 割以上減の 10,707 人回となっています。

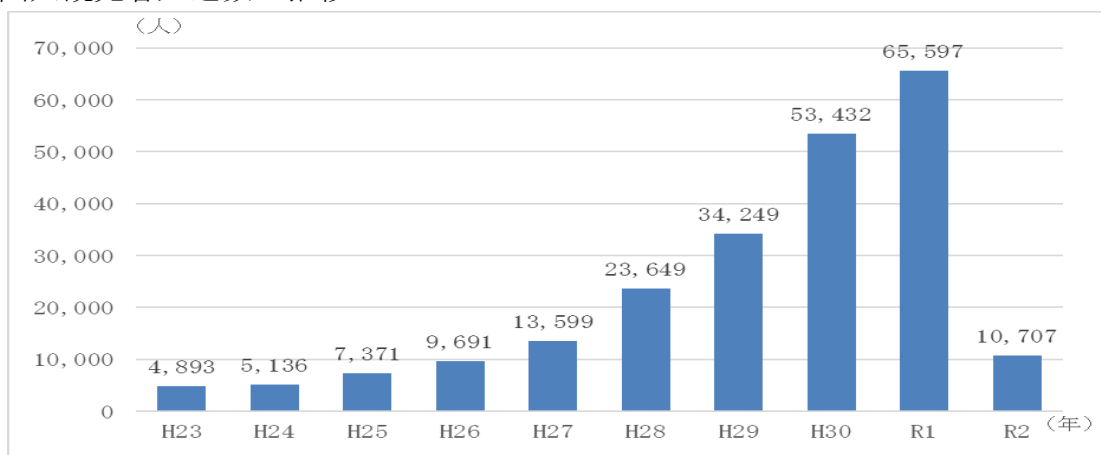
○盛岡市の観光客入込数の推移



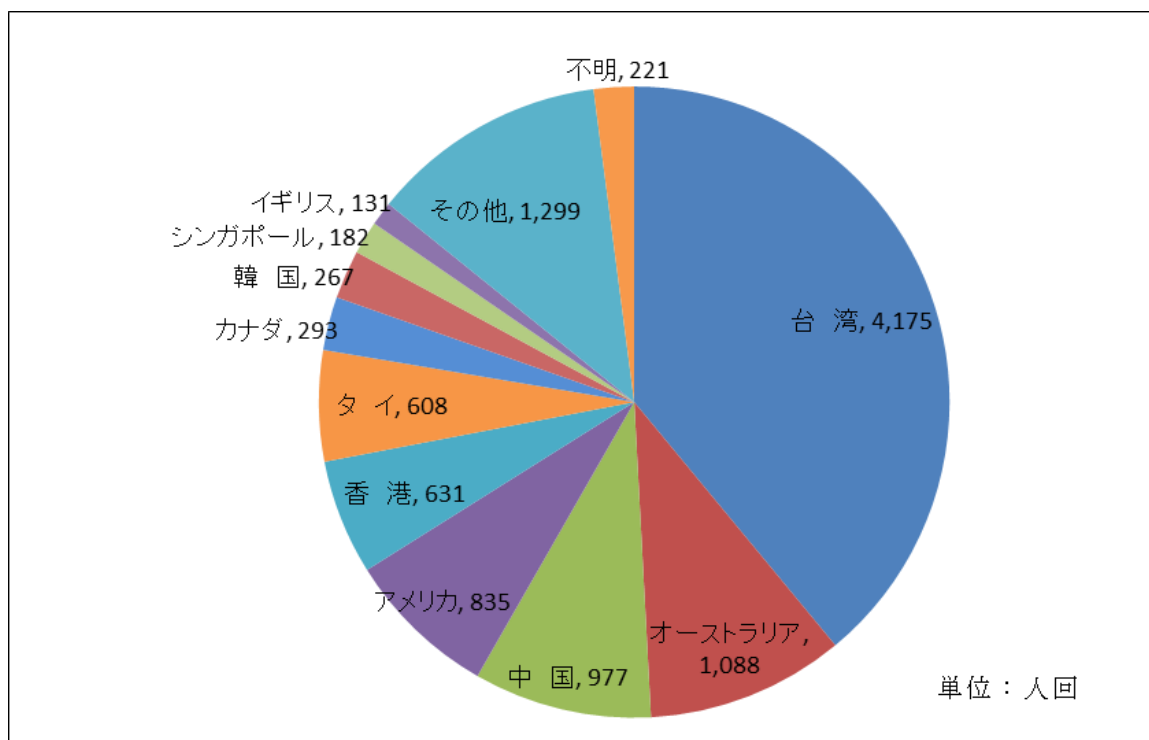
○盛岡市の宿泊観光客数の推移



○外国人観光客入込数の推移



○国・地域別外国人観光客入込数

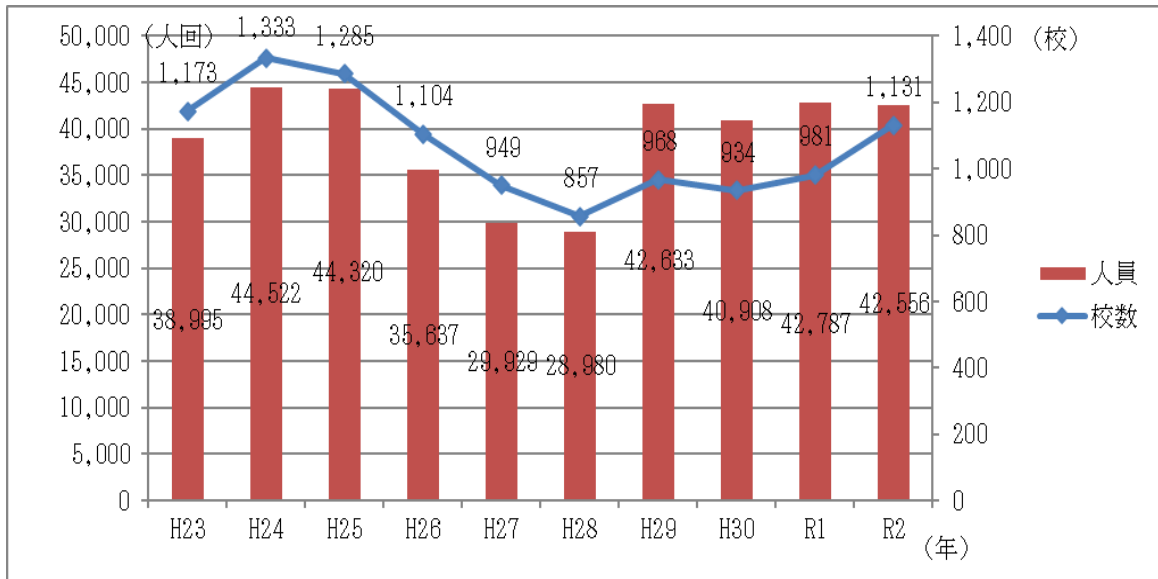


(2) 教育旅行客入込数の推移

令和2年に本県を訪れた教育旅行客を発地別で見ると、北海道・岩手県・宮城県からの来訪が多く、3道県で全体の8割近くを占めています。また、本市を訪れた学校数は延べ1,131校（前年比115.3%）、生徒数が42,556人回（前年比99.5%）となり、新型コロナウイルス感染症の影響による開催時期の春から秋へのシフトはあったものの、修学旅行客入込数の減少はありませんでした。最後まで感染者が出なかった県として、例年はあまり来訪がない県からの修学旅行もありました。

少子化などによって修学旅行の形態やニーズが多様化しており、魅力ある体験プログラムの企画や修学旅行用メニューの提案が課題となっています。

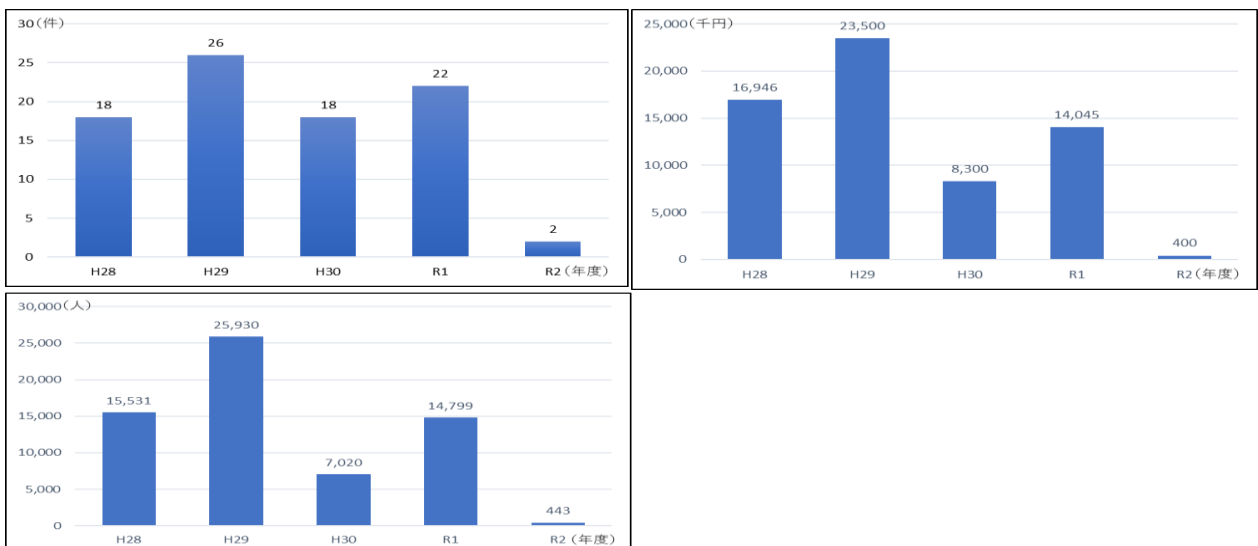
○教育旅行客入込数の推移



(3) 盛岡MICE開催助成制度実績数

平成27年度に開始した盛岡MICE開催助成制度を利用した会議や学会などの誘致件数等は以下のとおりです。制度の周知が図られた一方、大規模な全国大会の開催地については、特定地域に集中しない傾向にあることから、年度によって件数の増減が生じています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、MICEの開催中止やオンライン開催が増加したことから、開催助成実績は大幅に減少しました。

○盛岡MICE開催助成金交付件数・金額・参加者数の推移



3 我が国の観光施策の現状と将来展望

我が国において、観光は成長戦略の柱、地方創生の切り札である。

平成 28 年 3 月に明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）において「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、従来の政府目標を大幅に前倒しし、かつ、質の高い観光交流を加速させるべく、2030 年に訪日外国人旅行者数 6,000 万人、訪日外国人旅行消費額 15 兆円等の目標を設定し、新たな目標に向かって進んでいくこととしている。

新型コロナウイルス感染症収束後の中長期的スパンについては、「観光ビジョン実現プログラム 2020」において、インバウンドに大きな可能性があるのは今後も同様であり、2030 年に訪日外国人旅行者数 6,000 万人の目標は十分達成可能との見通しであります。

明日の日本を支える観光ビジョン （平成 28 年 3 月 30 日 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議）

○新たな目標を設定

	〈2020 年〉	〈2030 年〉
訪日外国人旅行者数	4,000 万人	6,000 万人
訪日外国人旅行消費額	8 兆円	15 兆円
地方部での外国人延べ宿泊者	7,000 万人泊	1 億 3,000 万人泊
外国人リピーター数	2,400 万人	3,600 万人
日本人国内旅行消費額	21 兆円	22 兆円

これらを踏まえ、取り組みを決定

観光ビジョン実現プログラム 2020 （令和 2 年 7 月 14 日 第 13 回観光立国推進閣僚会議）

○政府の今後 1 年以内を目途とした取組を決定

I、国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化

① 反転攻勢に転じるため基盤の整備

↓

② 国内旅行の需要喚起

↓

③ インバウンドの回復

段階を追って実施

II、インバウンド促進に向け引き続き取り組み施策

- 受入環境整備
(例)多言語対応 無料Wi-Fi環境整備 等
- 新たなコンテンツづくり
(例)アドベンチャーツーリズムの推進 等

インバウンドの再開に備える

4 アクションプラン策定目的

アクションプランは、国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による観光需要への影響を踏まえて、既存の観光推進計画に「ポストコロナ時代を見据えた観光の推進」を基本施策の柱に加え、具体の基本施策の実現を図ることを目的に策定するものであります。

本アクションプランの推進にあたっては、地域事業者や関係機関と連携を図りながら、推進期間における状況などを踏まえ、柔軟に取り組むこととします。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況が見通せないことから、状況に応じ弾力的に取組を進めてまいります。

5 期間及び成果指標、評価

(1) 期間

アクションプランは、現在の観光推進計画の期間（令和4年～6年度）を対象とし、次期計画の策定時に計画全体の見直しを行うこととします。

(2) 成果指標

アクションプランの成果指標は、盛岡市観光推進計画令和6年度の成果指標とする。

(3) 評価

位置付けられた事業については、盛岡市観光審議会において進捗状況を点検・評価します。

6 基本施策

これまで盛岡市は、交流人口・関係人口の拡大を目指し、祭り・イベント等の施策を重点的に進めてきました。

今後はこれまでの施策に加え、盛岡市固有の観光資源を生かした「通年型」、「体験型」観光の視点とともに、個人旅行を意識した誘客促進に向けて、次のとおり基本施策を新たに追加します。

(1) 社会情勢の変化に左右されない安定した誘客の促進

(2) 「新たな旅のスタイル」などの滞在型観光への取組

(3) 教育旅行の増客に向けた誘致促進

(4) インバウンド需要の段階的回復に向けた誘致促進

7 体系図

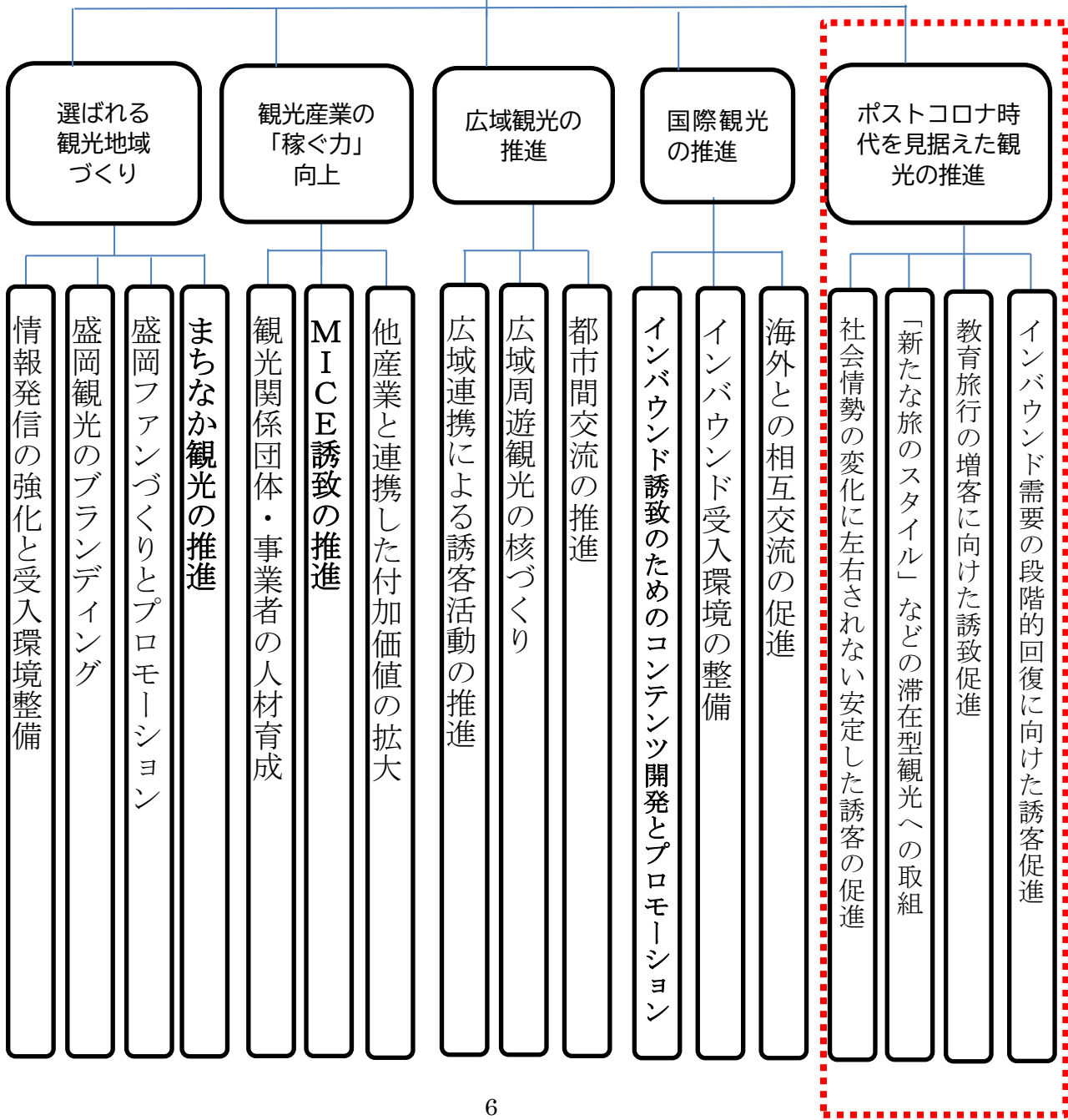
目指す姿

世界から盛岡ファンを引き寄せる 東北の観光交流都市

基本目標

- ・「歩いて楽しむまち盛岡」の魅力向上による盛岡ファンの拡大
- ・デジタルプロモーションなどの情報発信による認知度の向上
- ・メガスポーツイベントや東北DCを活用した誘客の促進

基本施策の柱



基本施策

8 アクションプラン

(1) 社会情勢の変化に左右されない安定した誘客の推進

盛岡市固有の観光資源を生かした通年での誘客促進への取組や観光地、観光施設の魅力の向上を図り、祭り・イベントによる誘客に加え、団体旅行から個人旅行への変化に対応した付加価値の高い新たな観光ニーズに対応する取組を推進します。また、すべての施策において十分な感染対策を行い、それを積極的にアピールすることで安全・安心な観光地としての魅力の発信を図ることとします。

◎：新規、○：拡充 ☆：追加・拡充

◎首都圏観光プロモーション事業（通年・体験）			
実施主体	盛岡市（観光課）		
概要	本市の強みを分析しつつ、ターゲット層を設定し、SNSを活用した情報発信・拡散を兼ねた検証を行い、潜在ターゲットに対し、盛岡の魅力を刷り込みつつ、訪問意欲を醸成し、新たな交流人口の拡大に向けて本市を知る機会につなげていきます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	ターゲット層にSNS・Webでの情報発信。Web アンケートによる検証をし、モデルコースの決定	前年度の検証をもとに、モニターツアーを実施し、ツアー前後で内容をSNS・雑誌媒体等で情報発信	
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット層に類似したインフルエンサーによる視察 Instagram・Webでの情報拡散、Web アンケートによる検証をし、モデルコースを設定 インフルエンサーがプロデュースする一般向けのモニターツアーを実施し、告知やレポート記事をSNS・雑誌等での発信 		

◎MICE誘致・開催支援の強化	
実施主体	盛岡市（観光課）、盛岡観光コンベンション協会、もりおかMICE誘致推進機構
概要	今後大規模会議の開催にあたって不可欠となる感染防止対策に要する経費及びハイブリット開催に伴うオンライン配信に要する経費の一部助成を検討します。また、効果的な誘致活動につなげるため、MICE誘致PR動画を製作し、誘致促進を図ります。MICE参加者に市内飲食店やタクシー等で利用できる割引チケットの配布による、地元事業者の利用促進策について検討します。

取組内容	R 4	R 5	R 6
	MICE開催感染防止対策及びハイブリット開催に伴うオンライン配信に要する経費の一部を主催者に対して助成	→	
	MICE誘致PR動画の制作	首都圏誘致懇談会等での効果的な誘致活動	→
	MICE参加者への市内飲食店やタクシー等での割引チケット等による、地元事業者利用促進策の検討及び施策の展開	→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催感染防止対策及びハイブリット開催に要する経費の一部助成 ・MICE誘致PR動画の製作 ・MICE参加者が利用できる割引チケット配布の検討 		

◎文化観光拠点施設を中心とした整備事業（通年・体験）

実施主体	盛岡市（歴史文化課）		
概要	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律（以下「文化観光推進法」という。）に基づき、博物館コレクション等の磨き上げ（資料調査・データベース・多言語化等）、Wi-Fi・キャッシュレスの整備、学芸員等の確保、バリアフリー、展示改修等の整備を計画的に進めます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	計画策定・認定	計画に沿ったもりおか歴史文化館、石川啄木記念館等の展示改修整備の実施	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定・認定 ・計画に沿った整備等の実施（資料調査・データベース・多言語化等）、Wi-Fi・キャッシュレスの整備、学芸員等の確保、バリアフリー、展示改修等） 		

○地域交通サービス向上支援事業＜再掲＞

実施主体	盛岡市（交通政策課、観光課）、バス・鉄道事業者・タクシー事業者、岩手県、周辺市町、関係団体・事業者
概要	盛岡市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通の利便性を高めるサービスの改善に取り組み、交通系ICカードなどの活用による利便性向上を図ります。

取組内容	R 4	R 5	R 6
交通系 IC カード等導入に向けた支援検討等		→	→
日本版M a a Sの実現に向けた国や事業者などによる実証実験等の取組の周知と取組結果や評価の把握		実証実験等の取組結果を踏まえた活用方策の検討と施策の取組	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通系 IC カード等導入支援 ・ 日本版M a a S実証実験や導入に向けた取組について関係団体・事業者へ周知 		

MaaS（マース：Mobility as a Service）：地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。

○盛岡手づくり村とつなぎ温泉を活用した観光振興<再掲>（通年・体験）			
実施主体	盛岡市（観光課、ものづくり推進課）、つなぎ温泉観光協会、盛岡地域地場産業振興センター		
概要	各種イベント・事業の支援により盛岡手づくり村・つなぎ温泉の新たな魅力づくりとブランディングに向けた取組を実施します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
各種イベント・事業への支援（温泉街のイルミネーション（つなぎでつなぐ願いのアーチ）、盛岡さんさ踊りの常設公演）		→	→
盛岡手づくり村・つなぎ温泉の新たな魅力づくりの検討、施策の展開		→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ つなぎでつなぐさんさ踊り常設公演への支援 ・ 温泉街イルミネーションの拡充支援 		

○祭りを活用したファンづくり<再掲> (通年・体験)			
実施主体	盛岡市（観光課）、盛岡観光コンベンション協会、祭り主催団体		
概要	体験型観光のニーズが高まっていることから、「チャグチャグ馬コ」「盛岡さんさ踊り」「盛岡秋まつり山車」を活用した取組を推進します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	中心市街地の各商店街などで「魅せる（披露）」と「楽しむ（体験）」を融合したいつでも「さんさ踊り（街なかさんさ）」などを楽しめる新たな観光コンテンツの創出	・街なかさんさ事業の実施 ・盛岡秋まつり山車のふれあい機会の創出	→
想定する取組	・中心市街地の各商店街等で盛岡さんさ踊りの披露と観覧者による踊り体験を実施 ・チャグチャグ馬コ、盛岡秋まつり山車等を活用した新たなコンテンツの創出		

○もりおか町家物語館と歴史情緒あふれるまち並み活用<再掲> (通年・体験)			
実施主体	盛岡市（観光課、交通政策課、スポーツ推進課）、交通事業者等		
概要	もりおか町家物語館を中心とする鉈屋町・大慈寺界限地区をはじめ八幡町や紺屋町等まち並み同士を誘導し、断続的な街並み回遊性を高める取組を推進します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	観光ルートの設定と誘導方法等の検討、施策の展開	・観光ルートの設定と誘導方法等の検討、施策の展開 ・もりおかプレミアムまちあるき事業の実施	観光ルートの設定と誘導方法等の検討、施策の展開
想定する取組	・市の HP を活用した誘導周知 ・北上川の舟運事業との連携 ・観光拠点を紹介したスマートフォンアプリ内のウォーキングマップの活用 ・国土交通省の実証実験グリーンスローモビリティの検討		

○沿岸被災地復興に向けた旅行商品開発とプロモーション<再掲> (体験)			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係団体・事業者		
概要	三陸復興道路・復興支援道路の全線開通により、沿岸地域への周遊利便性が向上することから、沿岸地域と連携し、被災地復興に向けた旅行商品開発やプロモーションを推進します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	旅行商品の開発と周知	旅行商品の周知	→
想定する取組	・日本の食文化等に関心を寄せるアジアの消費者（中国）を招聘し、観光資源の魅力を伝えるとともに体験等を SNS 等で発信		

○東北6市連携、東日本連携などの枠組を活用した取組<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係団体		
概要	東北の復興に向けた東北六魂祭・東北絆まつりで培った東北の県庁所在6市間のネットワークや東日本の新幹線沿線自治体によるネットワークを活用し、単市・単県では取り組みにくい大型のプロモーション等に取り組みます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	プロモーションへの参加	→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在6市による首都圏等でのプロモーション ・東日本の新幹線沿線自治体連携で運営するHP・SNSへ本市の観光情報を掲載 		

○「観光で稼ぐ」意識醸成セミナーの開催<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係団体、・事業者		
概要	観光地としての付加価値を高め、リピーター獲得や消費拡大等の「稼ぐ力」の向上と既存観光資源に捉われない多様な分野の関係事業者向けに各種セミナー等を開催し、新たな人材の育成を図ります。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	多様な分野の関係事業者を対象としたセミナーを開催	→	→
想定する取組	・観光事業者以外（農業等）も対象とした先進事例等のセミナーを開催		

☆新たなエリアへの積極的なプロモーションの実施			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係団体、・事業者		
概要	新たな観光客増加につなげるため、西日本地域をはじめとした誘客プロモーションを実施していきます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・全国市町村長等へのプロモーションの実施 ・西日本地域へのプロモーションの実施 	西日本地域へのプロモーションの実施
想定する取組	・西日本地域（関西・九州等）で開催される旅行博等への出展、旅行会社へのプロモーションの実施		

(2) 「新たな旅のスタイル」などの滞在型観光への取組

盛岡市の特徴や現状に適応した「新たな旅のスタイル」（ワーケーション、ブレイジャー）などの滞在型観光の普及促進と誘客に向けた取組を推進します。

◎：新規、○：拡充、☆：追加・拡充

◎ワーケーションなどの滞在型旅行のモデルプランの周知			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係団体・事業者		
概要	関係事業者向けにワーケーション先進事例の情報提供やワーケーションのモデルプランを作成している事業者の取組を市HP等で周知し、普及促進に向けた取組の推進を図ります。また、（一社）東北観光推進機構、いわて観光キャンペーン推進協議会、盛岡・八幡平広域観光推進協議会等関係団体や事業者の取組との連携など滞在型観光の促進を図ります。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	ワーケーション先進事例の情報提供	→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・関係事業者向けにワーケーション先進事例の情報提供 ・ワーケーションモデルプランを作成している事業者の取組を市HPへ掲載 		

○体験型メニュー、ニューツーリズム等推進体制の整備<再掲>（通年・体験）			
実施主体	盛岡市（観光課、関係各課）、盛岡観光コンベンション協会、関係団体・事業者		
概要	既存観光資源に捉われない新たな観光コンテンツ(体験型メニュー、各種ツーリズム等)について、メニューのリスト化や効果的な訴求情報の提供により、長期滞在型観光へつなげていきます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	体験型メニュー・各種ツーリズムのリスト化。HP等による効果的な訴求情報の発信	→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズム、エコツーリズム等のリスト化を図り、市HP等へ掲載 		

ニューツーリズム：従来の旅行と異なり、テーマ性が強く旅行先での人や自然、文化などと触れ合いを重視した新しいタイプの旅行形態。

(3) 教育旅行の増客に向けた誘致促進

コロナ禍の中、安心な教育旅行先として引き続き選ばれるための取組と教育旅行ニーズに適応した誘致促進への取組を推進します。

◎：新規、○：拡充 ☆：追加・拡充

○教育旅行経験者のリピーター化促進策の検討<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課）		
概要	教育旅行は将来の盛岡ファン、リピーターを生む原点であることから、積極的な誘致を進めるとともに再訪促進のための仕組みづくりに取り組みます。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	新規に訪れた県内外の来盛校へのDM発送	→	→
	SDGsを取り入れた教育旅行の誘致	→	→
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に訪れた県内外の来盛校へのDM発送 ・SDGsの目標アイコンを修学旅行ガイドブックの対象箇所に掲載 		

SDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）：2015年（平成27年）9月の国連サミットで決められた、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

(4) インバウンド需要の段階的回復に向けた誘客促進

インバウンド需要の回復に向けた受入環境の整備や誘客につながる効果的なプロモーションの展開を推進します。

◎：新規、○：拡充 ☆：追加・拡充

○重点ターゲット国・地域の設定と戦略的なプロモーション展開<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課）、関係自治体		
概要	重点ターゲット国・地域を明確化し、ターゲット国の情報を十分に収集・分析しながらマーケットに応じた戦略的なプロモーションを展開します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	花巻空港等の国際定期便の渡航再開に合わせた中国や台湾などの現地旅行エージェントの商談会により、安全安心な観光地としての効果的な魅力発信とプロモーションを検討	商談会の開催及びプロモーションの実施（アメリカ（ニューヨーク市）、タイ（バンコク市）、台湾（台北市））	<ul style="list-style-type: none"> ・商談会の開催及びプロモーションの実施（タイ（バンコク市）、台湾（台北市等）、その他（東南アジア地域）） ・高付加価値旅行者誘致に向けた検討
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県、周辺市町と連携し、中国や台湾等の現地エージェント商談会を開催 ・東南アジア地域でのプロモーション、現地エージェント商談会を開催 ・八幡平エリアとの連携による高付加価値化を意識した旅行商品の造成支援 		

○盛岡 City Wi-Fi 拡充などの受入環境整備<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課）、参加事業所		
概要	旅行者がストレスなく情報収集・発信ができるよう、市有観光施設の Wi-Fi 環境整備を図ります。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	市有観光施設の Wi-Fi 環境整備（盛岡バスセンター等）	→	→
想定する取組	・盛岡バスセンター等への Wi-Fi 環境整備支援		

○観光案内板・誘導板の計画的な整備・更新<再掲>			
実施主体	盛岡市（観光課、文化国際課）、盛岡観光コンベンション協会		
概要	多言語化やピクトグラムの使用など誰もが利用しやすい観光サインとなるよう、各種表示の計画的な整備・更新を実施します。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	多言語表記案内板の設置	→	→
想定する取組	・盛岡駅・盛岡城跡公園・プラザおでって等に QR コードを活用した多言語表記案内板を設置		

☆外国人観光客が安心して観光できる受入態勢の整備			
実施主体	盛岡市（観光課）、盛岡観光コンベンション協会、関係団体		
概要	外国人観光客が安心して観光できる受入態勢の強化を図ります。		
取組内容	R 4	R 5	R 6
	デジタル観光マップの多言語化の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡駅北口への臨時観光案内所の設置 ・ふるさとガイドマップ（英語版）製作 ・外国語版（英語・繁体字）マップの更新 ・広告の掲出による誘客促進（東北新幹線等、東海道新幹線、JAL 国際線） ・デジタル観光マップの掲載内容の充実、多言語による周知チラシの製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡駅北口への臨時観光案内所の設置 ・外国語版観光マップの製作 ・デジタル観光マップの掲載内容の充実
想定する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版観光マップの製作 ・デジタル観光マップの掲載内容の充実 		

盛岡市交流推進部観光課
TEL (019) 626-7539
FAX (019) 604-1717
E-mail kankou@city.morioka.iwate.jp